

科目名	社会活動とコミュニケーション演習			開講時期	1年生 通年		
				授業の形態	演習		
ディプロマポリシー	豊かな人間性			時間数	20 時間		
担当者名				単位数	1 単位		
科目の概要	社会活動に関する講義・演習、ボランティア活動への参加						
身に付ける力	(1)社会生活に必要なマナーやコミュニケーション能力 (2)地域社会の構成者としての自覚や、地域貢献に関する意欲						
到達目標	(1)社会活動の種類や意義について理解する (2)各種ボランティア活動に積極的に参加する (3)社会の課題を発見し、解決に向けての関わり方を思考する						
授業計画		授業内容・方法			時間数	講師	
	1	社会活動とは、ボランティア活動の意義			2		
	2	ボランティア(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・農大周辺水路清掃 ・寮周辺環境整備 ・大平山環境保全 ・防府市各種イベント ・防府読売マラソン ・献血 ・その他 		2		
	3	ボランティア(2)			2		
	4	ボランティア(3)			2		
	5	ボランティア(4)			2		
	6	ボランティア(5)			2		
	7	ボランティア(6)			2		
	8	ボランティア(7)			2		
	9	ボランティア(8)			2		
	10	地域社会の課題と自らの関わり方			2		
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
テキスト・副教材							
評価方法	評価方法	観点	割合(%)	評価方法	観点	割合(%)	
	定期試験			実技テスト			
	レポート	知・技・思・判・表	30	発表・成果物			
	授業・実習態度	思・判・表、態度	70	研修評価			

観点:「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度

科目名	地域課題探求			開講時期	1年生 通年		
				授業の形態	演習		
ディプロマポリシー	地域活性化力			時間数	20 時間		
担当者名				単位数	1 単位		
科目の概要	(1)県内各産地の現状や展望に関する学修(講話、現地視察) (2)県内各産地の課題解決に関する学修(ワークショップ)						
身に付ける力	(1)県内各産地の課題発見とその解決に取り組む意欲 (2)県内各産地への就農意欲						
到達目標	(1)県内各産地の現状を理解する (2)県内各産地の課題を発見し、その解決思考できる						
授業計画		授業内容・方法			時間数	講師	
	1	山口県農農業について、ワークショップの試行			2		
	2	県内各産地の課題解決策の検討(畜産農家の事例学修)、課題解決策の検討(ワークショップ)			2		
	3	県内各産地の課題解決策の検討(農事組合法人の事例学修)、課題解決策の検討(ワークショップ)			2		
	4	県内各産地の課題解決策の検討(個人農家の事例学修)、課題解決策の検討(ワークショップ)			2		
	5	県内各産地の課題解決策の検討(農家生活の事例学修)、課題解決策の検討(ワークショップ)			2		
	6	県内各産地の課題解決策の検討(若手農家の事例学修)、課題解決策の検討(ワークショップ)			1		
	7	県内各産地の現状について(農家・法人の視察)			4		
	8	課題解決策の検討(班別ワークショップ)			4		
	9	発表			1		
	10	※2～7については、講師との調整により順序は変更になります。					
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
テキスト・副教材							
評価方法	評価方法	観点	割合(%)	評価方法	観点	割合(%)	
	定期試験			実技テスト			
	レポート	知・技・思・判・表	40	発表・成果物	知・技・思・判・表	10	
	授業・実習態度	思・判・表・態度	50	研修評価			

観点:「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度

科目名	情報処理・情報活用		開講時期	1年生 通年		
			授業の形態	講義		
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術		時間数	30 時間		
担当者名			単位数	2 単位		
科目の概要	(1)ワープロソフト、計算ソフト、プレゼンテーションソフトの基礎的な使用方法の学修 (2)IoTを活用した農場管理技術に関する学修 (3)インターネットを活用した情報発信、リモートでの情報交換等に関する学修					
身に付ける力	(1)DX時代に対応するITに関する基礎知識・技術 (2)IoTを活用した農場管理技術 (3)インターネットを活用した情報発信、リモートでの情報交換に関する基礎的知識・技術					
到達目標	(1)ワープロソフト、計算ソフト、プレゼンテーションソフトを活用して、プロジェクトのプレゼンテーションを行うことができる (2)農場管理における環境制御システム等が使用できる (3)インターネットを活用した情報発信やリモートでの情報交換方法を理解する					
授業計画		授業内容・方法	時間数	講師		
	1	ワープロソフトの基礎的知識・技術	2			
	2	ワープロソフトの基礎的知識・技術	2			
	3	表計算ソフトの基礎的知識・技術	2			
	4	表計算ソフトの基礎的知識・技術	2			
	5	表計算ソフトの基礎的知識・技術	2			
	6	表計算ソフトの基礎的知識・技術	2			
	7	プレゼンテーションソフトの基礎的知識・技術	2			
	8	プレゼンテーションソフトの基礎的知識・技術	2			
	9	プレゼンテーションソフトの基礎的知識・技術	2			
	10	農場の環境制御に関する基礎的知識・技術	2			
	11	その他のIoTを活用した農業技術	2			
	12	最先端技術による竹の活用について	2			
	13	情報セキュリティ(1)	2			
	14	情報セキュリティ(2)	2			
	15	名刺の作成について	1			
	16	定期試験	1			
テキスト・副教材	Word2019 マスター演習テキスト基礎編、Excel2019 マスター演習テキスト基礎編 PowerPoint2019 テキスト 以上ムゲンダイ出版					
評価方法	評価方法	観点	割合(%)	評価方法	観点	割合(%)
	定期試験	知・技・思・判・表	70	実技テスト		
	レポート	思・判・表	10	発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表・態度	20	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	特別講義			開講時期	1年生 通年		
				授業の形態	講義		
ディプロマポリシー	地域活性化力、豊かな人間性			時間数	15 時間		
担当者名				単位数	1 単位		
科目の概要	社会生活に必要な一般教養等に関する学修						
身に付ける力	社会人として必要な一般教養						
到達目標	社会人として必要な一般教養(人権教育等)を理解する						
授業計画		授業内容・方法			時間数	講師	
	1	救急救命講座			2		
	2	防災(消防訓練)			2		
	3	海外研修に関する講話			1		
	4	メンタルヘルス研修			4		
	5	農業実物鑑定競技			2		
	6	アングーマネジメント講座			2		
	7	人権教育			2		
	8						
	9	※講師との調整により順不同					
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
テキスト・副教材							
評価方法	評価方法	観点	割合(%)	評価方法	観点	割合(%)	
	定期試験			実技テスト			
	レポート	知・技・思・判・表	50	発表・成果物			
	授業・実習態度	思・判・表、態度	50	研修評価			

観点:「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度

科目名	農業経営			開講時期	1年生 通年	
				授業の形態	講義	
ディプロマポリシー	経営管理能力			時間数	15 時間	
担当者名				単位数	1 単位	
科目の概要	(1)山口県農業に関する基礎的な学修 (2)一般的な会社経営に係る基礎知識の学修 (3)農業経営実践者から、農業経営の内容や管理方法等を聞き取り					
身に付ける力	農業経営に関する基礎的な知識					
到達目標	(1)山口県農業に関する情勢等を理解する。 (2)農業経営や農業法人等に関する基本的な内容を理解する。					
授業計画		授業内容・方法		時間数	講師	
	1	1 農業を巡る情勢について		3		
	2	(1)山口県農業の概要				
	3	(2)山口県農業の課題				
	4	2 農業経営の基礎(法人の取組事例を踏まえて)		6		
	5	(1)農業経営の組織と運営				
	6	(2)集落営農法人と集落営農法人連合体について				
	7	(3)経営改善に向けた基礎知識				
	8	3 農業法人等の就業について(最新の動向)				
	9	(1)農業法人の労務関係、制度		2		
	10	(2)農業法人への就業の心構え		2		
	11	(3)会社経営		1		
	12	定期試験		1		
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期試験	知・技	70	実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態	30	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	農業政策概論			開講時期	1年生 通年		
				授業の形態	講義		
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術、経営管理能力			時間数	15 時間		
担当者名				単位数	1 単位		
科目の概要	(1)農業政策の意義や内容に関する学修 (2)農業の現状に関する学修 (3)農業担い手の経営管理および支援策の概要						
身に付ける力	農業政策の意義や内容の理解と県内農業の現状の理解						
到達目標	(1)農業政策の意義や内容を理解する (2)農業の現状を理解する (3)農業担い手に関する支援策を理解する						
授業計画		授業内容・方法			時間数	講師	
	1	農業政策の意義と内容			4		
	2	農業の現状理解			5		
	3	県農業の情勢と各種施策(1)			2		
	4	県農業の情勢と各種施策(2)			2		
	5	県内担い手の概要(経営管理等)			2		
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
テキスト・副教材							
評価方法	評価方法	観点	割合(%)	評価方法	観点	割合(%)	
	定期試験			実技テスト			
	レポート	知・技・思・判・表	50	発表・成果物			
	授業・実習態度	思・判・表、態度	50	研修評価			

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	農業機械演習			開講時期	1年生 通年	
				授業の形態	演習	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	60 時間	
担当者名				単位数	3 単位	
科目の概要	(1)農業に関する機械の構造、基本的な操作方法の学修 (2)農業機械の公道走行の学修					
身に付ける力	農業に関する機械の基礎的な知識と操作技術					
到達目標	(1)農作業安全・労働安全衛生に係る知識・技術を習得する。 (2)農業に関する機械の保守管理に関する知識・技術を習得する。 (3)農業に関する機械の基本的な操作方法に関する知識・技術を習得する。					
授業計画		授業内容・方法		時間数	講師	
	1	農作業安全について(講義)		1		
	2	燃料の取扱い(講義)		1		
	3	刈払機の安全使用と保守管理(講義・演習)		2		
	4	農業機械の公道走行(講義・演習)		40		
	5	定期試験		1		
	6	労働安全衛生について(講義・演習)				
	7	安全衛生教育等における資格取得(選択)		15		
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材	農業機械士技能検定試験テキスト (社)日本農業機械化協会					
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期試験			実技テスト		
	レポート	知・技	70	発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態	30	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	農畜産物流通概論			開講時期	1年生 通年	
				授業の形態	講義	
ディプロマポリシー	経営管理能力			時間数	15 時間	
担当者名				単位数	1 単位	
科目の概要	農畜産物の流通に関する知識、流通構造の理解、流通合理化能力を育てる学修					
身に付ける力	農業経営に必要なマーケティングに関する基礎的な知識					
到達目標	(1)食品流通について、体系的に理解し、関連する知識を身に付ける。 (2)食品流通に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。 (3)食品流通の合理的な管理とマーケティングが経営発展につながるよう自ら学ぶ。					
授業計画		授業内容・方法		時間数	講師	
	1	現代社会と食品流通、食品流通のしくみと働き		2		
	2	人材育成研修、流通の基礎及びワークショップ(9/4)		2		
	3	農家から見た流通1, 2		2		
	4	米と麦の流通		2		
	5	青果物の流通、食品マーケティング		2		
	6	畜産物・加工食品の流通、食品流通・マーケティングの実践		2		
	7	定期試験、論文		2		
	8	講評、1年の学修の振り返り		1		
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期試験	知・技	60	実技テスト		
	レポート	思・判・表	20	発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態	20	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	農畜産物利用演習			開講時期	1年生 通年		
				授業の形態	演習		
ディプロマポリシー	経営管理能力			時間数	20 時間		
担当者名				単位数	1 単位		
科目の概要	(1)農畜産物の加工の目的、加工特性に関する基礎的な学修 (2)代表的な農産物加工、畜産物加工の実習						
身に付ける力	農畜産物の基本的な特性を理解し、その加工技術を習得する。						
到達目標	(1)農畜産物の加工の目的、加工特性に関する基礎的な内容を理解する。 (2)代表的な農畜産物加工の方法を理解する。						
授業計画		授業内容・方法			時間数	講師	
	1	農畜産加工の目的と加工販売に必要な条件			1		
	2	加工の実際					
	3	(1)牛乳・肉製品の加工			8		
	4	(2)果実・野菜・大豆・小麦等の加工			8		
	5	まとめ			2		
	6	定期試験			1		
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
テキスト・副教材							
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合	
	定期試験	知・技	70	実技テスト			
	レポート	思・判・表	10	発表・成果物			
	授業・実習態度	態	20	研修評価			

観点：「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	農業基礎			開講時期	1年生 通年		
				授業の形態	講義		
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	45 時間		
担当者名				単位数	3 単位		
科目の概要	(1)作物栽培に関する基礎的な知識・技術の学修 (2)畜産に関する基礎的な知識・技術の学修 (3)土壌肥料、気象等に関する基礎的な知識・技術の学修						
身に付ける力	農業全般に関する基礎的な知識・技術						
到達目標	(1)作物栽培に関する基礎的な知識・技術を理解する (2)畜産に関する基礎的な知識・技術を理解する (3)土壌肥料、気象等に関する基礎的な知識・技術を理解する						
授業計画		授業内容・方法			時間数	講師	
	1	植物の基本生理			2		
	2	作物の成長と繁殖			3		
	3	基本的な栽培管理			7		
	4	主穀作物、園芸作物の概要			3		
	5	家畜の定義、分類、品種			4		
	6	家畜の一生、日本の畜産と世界の畜産			4		
	7	畜産物の利用、糞尿処理と利用			4		
	8	農業分野における情報発信			2		
	9	土壌肥料の役割、様々な土壌			2		
	10	植物に必要な養分、養分欠乏			4		
	11	肥料の種類と役割、肥料設計、排水対策			2		
	12	簡単な土壌分析			4		
	13	農業に役立つ気象情報			2		
	14	定期試験(前後期)			2		
テキスト・副教材	図解でよくわかる 土・肥料の基本(一般財団法人 日本土壌協会監修 誠文堂新光社)						
評価方法	評価方法	観点	割合(%)	評価方法	観点	割合(%)	
	定期試験	知・技・思・判・表	70	実技テスト			
	レポート	知・技・思・判・表		発表・成果物			
	授業・実習態度	思・判・表・態度	30	研修評価			

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	作物栽培演習			開講時期	1年生 通年		
				授業の形態	演習		
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	20 時間		
担当者名				単位数	1 単位		
科目の概要	土地利用型作物(水稲、麦類)の生産と栽培管理に関する基礎的な学修						
身に付ける力	土地利用型作物(水稲、麦類)の生産と栽培管理に関する基礎的な知識・技術						
到達目標	(1)水稲の生産と栽培管理、水田の土づくり等の基本的な知識・技術を習得する。 (2)麦類の生産と栽培管理の基本的な知識・技術を習得する。						
授業計画		授業内容・方法			時間数	講師	
	1	水田土壌分析			2		
	2	水稲の栽培管理(播種等)			2		
	3	麦の栽培管理(収穫等)			2		
	4	田植え			2		
	5	雑草管理			2		
	6	病害虫管理			1		
	7	コンバインの操作方法・メンテ等			2		
	8	排水対策			2		
	9	麦の栽培管理(播種等)			2		
	10	麦の生理生態			2		
	11	定期試験			1		
	12						
	13						
	14						
15							
テキスト・副教材							
評価方法	評価方法	観点	割合(%)	評価方法	観点	割合(%)	
	定期試験	知・技	70	実技テスト			
	レポート			発表・成果物			
	授業・実習態度	思・判・表、態	30	研修評価			

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	林業基礎			開講時期	1年生 通年		
				授業の形態	講義		
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	15 時間		
担当者名				単位数	1 単位		
科目の概要	(1)山口県の森林・林業に関する基礎的な学修 (2)林業の基本的な作業(育林、伐倒)及び特用林産に関する学修						
身に付ける力	森林・林業に関する基礎的な知識・技術						
到達目標	(1)山口県の森林・林業に関する情勢等を理解する。 (2)林業に必要な基礎的な知識・技術を習得する。						
授業計画		授業内容・方法			時間数	講師	
	1	山口県の森林・林業の現状			1		
	2	林業概論			1		
	3	特用林産(1)			2		
	4	特用林産(2)			2		
	5	最新の林業試験研究(コンテナ苗の育苗技術)			2		
	6	育林			1		
	7	伐採方法			1		
	8	伐倒作業(1)			2		
	9	伐倒作業(2)			2		
	10	レポート			1		
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
テキスト・副教材							
評価方法	評価方法	観点	割合(%)	評価方法	観点	割合(%)	
	定期試験			実技テスト	知・技		
	レポート	知・技・思・判・表	60	発表・成果物			
	授業・実習態度	思・判・表、態度	40	研修評価			

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	GAP概論			開講時期	1年生 通年	
				授業の形態	講義	
ディプロマポリシー	経営管理能力			時間数	15 時間	
担当者名				単位数	1 単位	
科目の概要	GAPの基本的な考え方、安心・安全な生産物管理に関する学修					
身に付ける力	GAP実践者として必要な知識・技術					
到達目標	(1)食品安全、労働安全に対するリスク評価と改善内容について理解する。 (2)農大のルールとGAP管理点の関連について理解する。					
授業計画		授業内容・方法		時間数	講師	
	1	GAPの概要		2		
	2	食品安全及び農作業安全にかかるリスク		2		
	3	自己点検による農畜産物取扱施設等に潜むリスクと農大でのルールの実際(各課)		2		
	4	トヨタ生産方式について		2		
	5	JGAP維持審査受検対応演習		6		
	6	テスト		1		
	テキスト・副教材	農業高校等生徒向けGAPテキスト (有)山口ティー・エル・オー 日本GAP協会 農場用管理点と適合基準(穀物、青果物、畜産)				
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期試験	知・技、思・判・表	20	実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	態	80	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	販売実践演習			開講時期	1年生 通年	
				授業の形態	演習	
ディプロマポリシー	経営管理能力			時間数	20 時間	
担当者名				単位数	1 単位	
科目の概要	販売実習をとおして多様な販売方法を学修する。					
身に付ける力	農業経営に必要な販売に関する知識・技術					
到達目標	(1)販売実習で、適切な接客方法を理解する。 (2)PR方法等、効果的な販売手法を理解する。					
授業計画		授業内容・方法		時間数	講師	
	1	対面販売の準備・企画・運営		15		
		(周南市道の駅、うめてらす他)				
		【授業内容及び時間数の内訳】				
		準備:出荷物の特徴等に係る調査レポート 4時間				
		企画:対面販売に向けた打合せ 3時間				
		対面販売におけるルール・マナー 1時間				
		運営:対面販売 7時間				
	2	POPの作成		4		
	3	販売実習におけるレポート		1		
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法		観点	割合	評価方法	
	定期試験				実技テスト	
	レポート		思・判・表	20	発表・成果物	
	授業・実習態度		知・技、態	80	研修評価	

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	会社経営論			開講時期	1年生 通年		
				授業の形態	講義		
ディプロマポリシー	経営管理能力			時間数	15 時間		
担当者名				単位数	1 単位		
科目の概要	「農大生の会社」の設立や経営管理、販売方法及びマーケティングに関する学修						
身に付ける力	会社設立に関する知識、マーケティングの基礎知識						
到達目標	(1)会社設立の手続きを理解する。 (2)マーケティングの理論を理解する。						
授業計画		授業内容・方法			時間数	講師	
	1	農業経営の法人化			2		
	2	会社設立の手続き			4		
	3	マーケティングの基礎概念			1		
	4	マーケティングの基本的な用語			2		
	5	マーケティングの事例(1)			2		
	6	マーケティングの事例(2)			2		
	7	マーケティングのまとめ			2		
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
テキスト・副教材							
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合	
	定期試験			実技テスト			
	レポート	思・判・表	50	発表・成果物			
	授業・実習態度	態	50	研修評価			

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度